

青山学院大学

昨年度、関東リーグ戦・インカレ優勝を果たし、今年もトーナメント・リーグ戦で優勝し見事にインカレ第1シードを守り切った青山学院大学。今年もインカレ優勝の最有力候補に名を連ねる。そんな青山学院大学の頼れる大黒柱、荒尾 岳。攻守ともに強気なプレイでチームを引っ張り、類まれなる身体能力の高さを誇り、リバウンド・ブロックを量産する。関東リーグ戦では、最優秀選手賞・リバウンド王を受賞し、名実ともに関東一のセンタープレイヤーであることは言うまでもない。青山学院大学を選んだ理由は、長谷川監督の熱意に惹かれたからと語っている。関東一の闘将、長谷川監督を胴上げできるかどうかは、彼自身のプレイに懸っているのかもしれない。

抜群のバスケットセンスと、経験を兼ね備え個性派集団をコート上で見事にまとめ上げる 渡邊 裕規。ガードとしてもチームを引っ張り、自らも積極的に得点し勝利に大きく貢献する。鋭いドライブから、広い視野で絶妙なアシストを量産し、関東リーグ戦では、東海大学の西村を差し置いて、71本という驚異的な記録でアシスト王を受賞した。リーグ戦を振り返り、良いところと悪いところがはっきりと出てしまったので、インカレまでに修正したいと語った。インカレで優勝し、必ず三冠を取ると豪語する彼の、4年生にも負けない強気なプレイに期待したい。

渡邊とアウトサイドコンビを組む、仕事人 小林 高晃。トーナメント・リーグ戦では優秀選手賞を受賞し、決して派手とは言えないプレイスタイルだが、彼なしでは2年連続のリーグ戦優勝は成し得なかったであろう。観客のみなさんに、誰よりも多い運動量を見て欲しいと語る通り、彼は終始コート上を駆け回る。どこからでも得点ができ、ここぞという時にシュートを沈め、流れをチームに持ってくる。シュートを打った後、自らOFリバウンドを取りに行く彼のアグレッシブなプレイをとくにご覧あれ!!

春の新人戦では、準優勝に大きく貢献した 橋本 竜馬。彼は、イイ意味でいやらしく相手が嫌がるDFをし、そこからブレイクや1対1に持ち込み、チームに流れを一気に持ち込む。そんな彼は、青山学院大学のムードメーカーである。

彼らをはじめ、新人戦では優秀選手賞・アシスト王を受賞した湊谷 安玲久司朱。内外角どこからでもシュートを決めるシュート力・勝負強さを兼ね備えた彼は、今後さらに大きく成長するだろう。インカレの大舞台でも大暴れしてくれることを期待したい。また、一年生ルーキー、辻 直人。面白いように決まる、素早いシュートモーションから放たれる華麗な放物線を描くシュート。彼がいかに他の選手と絡んでいけるかが、青山学院大学の二連覇のカギを握る。昨年同様、闘将、長谷川監督が満面の笑みで宙を舞うことができるのであろうか……。

彼らの戦いぶりを是非会場でご覧あれ!!

橋本

竜馬 (2年)



小林 高晃
(3年)



荒尾 岳
(4年)

湊谷 安玲久司 朱
(2年)



渡邊 裕規
(3年)